

みやけの風

第 140 号

平成 15 年(2003年) 9 月 6 日(土) 発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

10月以降の一時帰島の案内が村から届きましたね。滞在型も日帰りも、より参加しやすくなっていました。出来ることと出来ないことがあったでしょうが、住民の希望を受けて努力された三宅村や関係機関に感謝したいものです。今後も住民の要望と行政の努力がうまくかみ合っていくことを願わずにはられません。住民にも役場職員にも、みんなにとって「私たちの島」なのですから。

みんなの声

滞在帰島に行って

三宅島帰島も何度か回を重ねるごとに、人の手が入り、家の中もずいぶんとさっぱりとしてきました。

特に滞在型帰島によって身体的にゆとりが出て来たことや水道の使用、また電源設置による電気製品の使用が大きな助けとなりました。それにしても三年間、家主の帰りを待っていた様々な日用品達は賞味期限切れや、ねずみのいたずらで大量のゴミと化して捨てられる様には心が痛みます。様々な今日までの「過ぎ越し方」を思う時、やるせない気持ちでゴミとしてビニール袋に詰める作業に、少々感傷的になってしまったのは私だけでしょうか。

自然災害とはいえ、地区によっては悲しい実情も車窓から目の当たりにして、ひとごととは思えない深い溜め息が出てしまいました。

残された家も被害にあった家屋も、両親から聞いた、交通機関の無い時代の「宿」の制度の様に、お互いに力を合わせて、一日も早い復興を目指したいという気持ちで帰ってまいりました。

それにしても、やっぱり三宅島はいいですね。滞在ごとにその思いはつのります。

(足立区 鎌川 文子)

フォーラムの感想

全島避難から三年、その節目に豊島区民センターで「帰島・復興を考えるフォーラム」が開催されました。

今回のメインである意見交換では、自らが被災者である島の農業・漁業・観光業・建設業・福祉関係者がそれぞれの立場で現状を訴え、今後の対策や希望、夢を具体的に述べ、切実な生の声を聞くことができました。

私自身も、置かれている立場と照らし合わせ、溜め息をついたり、うなづいたり、感心したりと聞き入りました。時間の都合上、一部の方々の発言だけでしたが大変解りやすく、有意義だったと思いました。今後はこのような意見交換をもっと大勢で活発に行なう機会が欲しいものです。

いろいろな都合でこういう催しは都内で開かれることが多いと思いますが、なるべく積極的に出席し、私たちの本音を活字だけではなく生の声として、村だけでなくさらに都や国にもっと伝えて行かなければならないと思います。

避難生活も三年になり、島民ひとりひとりが、それぞれ真剣に行く末を考え、自身の意見を持っているはずなのですから……。

(港区 坪田 浅沼 京子)

三宅島島民連絡会関連の動画コンテンツ配信中

現在、三宅島島民連絡会関連の動画コンテンツを、下記URLにて配信しています。よかったらQuickTimePlayerをインストールしてご覧ください。

<http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Kouen/5856/emenuframe.html>

実習を終えて

約1ヶ月の間、三宅島社会福祉協議会で勉強をさせていただきました。

私はこの実習をする前、三宅島が噴火災害によって全島避難をせざるをえない状況であることは知っていましたが、島民の方々がどういった生活をしているのか、またそうした方々に対していったいどのような支援が行われているのかといった重要なことは全く知りませんでした。

しかし、実際に避難されている方々のお宅を訪問させていただき、その状況を直に見ることができたことや、島民の生活支援を行っている方々のお話を伺う機会が何回もあったことで、まがりなりですが三宅島

の現状を知ることができたのではないかと思います。

三年にも及ぶ三宅島の避難生活の状況とその支援策について、何が大切であるのか、そして何が問題であるのかなどを、今後さらに学んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、社会福祉協議会の職員の方々、村役場の職員の方、何より実習中に会った多くの三宅島の方々、大変お世話になりました。

これからも微力ではありますが三宅島のために力になればと思います、また一日も早い帰島が実現するように願っています。

(明治学院大学4年 前田 雄太)

三宅島島民連絡会より

次回、三宅島島民連絡会会議のお知らせ

会議は毎月第2土曜日の午後1時30分から午後3時30分まで、飯田橋セントラルプラザ10階AB会議室にて開催しています。月に一度の機会をお気軽にご利用ください。

今回は 9月13日(土) です。

東京災害ボランティアネットワークより

東京災害ボランティアネットワーク主催

「2003年度市民による防災訓練～帰宅困難者対応訓練～」

無事終了しました!

訓練当日朝に雨が降り、参加者の足が鈍るのではないかと心配しましたが、新宿中央公園での出発式の後、先頭班が10:40頃出発しました。終着点のつつじが丘駅前には14:00頃、先頭班が到着、最終班が15:30頃の到着。

今回の訓練では、「徒歩帰宅訓練」「エイドステーション設置訓練」「情報伝達訓練」の3つの訓練を行いました。どの訓練も災害時に役立つものであるのと同時に、災害前の防災/減災につながる訓練であることを確認することとなりました。

また、甲州街道(約14km)沿道では、各自治体、企業、関係団体から様々な物資・資機材・場所等の提供をいただきました。警察署、消防署を含め、関係各機関の方々のご協力をもって訓練を無事終了することができました。参加者数は、徒歩帰宅訓練:350名、AS設置訓練:130名、情報伝達訓練:30名、あわせて500名強に上りました。

この事業を通じて、日頃から私ども東京災害ボランティアネットワークの目指している災害に備える『顔の見える関係』のより一層の広がりを感じることができました。当日の様子は東災ポHPでのご覧いただけます。

Html <http://www.tosaibo.net/>